参考資料４

学習支援人材の役割と機能〔概念図〕（案）

社会全体で子どもの多様な体験活動・奉仕活動の機会を提供／
大人の学び直しの機会を充実／学習活動を通じた地域コミュニティづくり

外部人材

教育サポーター〔講師〕

役割・機能
学校・青少年施設・社会教育施設等において講師として活躍する講師

- **学校**
  総合的な学習時間・特別活動の講師
- **家庭**
  家庭教育講座等の講師
- **地域**
  自然体験活動・文化体験活動のリーダー
- **企業**
  職業教育における講師

学習コーディネーター

ＮＰＯ
ボランティア
大学
民間教育事業者
社会教育施設

○コーディネーターの役割・機能
①マッチング〔関係機関・外部講師との調整〕
②情報収集・整理・提供
③相談・助言
④企画・評価（ニーズの調査研究・分析）

学習活動の場

- **学校**
  総合的な学習時間、特別活動、部活動　など
- **社会教育施設**（公民館、少年自然の家、図書館、博物館など）
  自然体験活動・文化体験活動
- **福祉・医療施設**
  老人ホーム、身体障害者福祉施設などの学習活動
- **家庭**
- **町内会・自治会・子ども会**
  遊び場づくり、交通安全教育、防災教育など
- **企業**
  職場体験・インターンシップ

行　政

連携

協　議　会

企業、経済団体、職業訓練機関、ボランティアセンター、NPO、文化芸術団体、スポーツ団体、大学、学校、市町村教育委員会

社会教育主事が地域のしくみづくりを企画・立案・調整

◆地域のニーズ把握・明確化
＜課題例＞
- **学校教育支援**
- **子どもの体験活動・奉仕活動の場の充実**
- **家庭教育支援・子育て支援**
- **職業教育**
- **学び直しの機会充実**
- **団塊世代の活躍の場の充実**

◆協議会において課題別取組
- **教育プログラムづくり**
- **情報収集・提供**

◆学習相談体制の構築

学習者

- 学びの目的が明確でない人
- 何から学んだらよいかわからない人
- どこで学べるか分からない人

→

学習相談員

○学習相談員の役割・機能
学習の必要性・ニーズの明確化、学習〔入り口〕から再就職やボランティア活動等社会参加までのカウンセリングを含めた支援を行う
①学習相談
②学習計画作成の指導・助言
③学習機会に関する情報提供
④学習成果の評価に関する指導・助言
⑤職業訓練機関・ボランティアセンターへの橋渡し

社会教育主事

社会教育主事の役割・機能

①地域の学習課題の把握・分析　②課題に基づく地域の仕組みづくり〔企画立案・運営〕
③広域的な調整者〔コーディネーター〕　④地域のコーディネーター等人材育成　⑤情報収集・整理・提供
⑥地域活動に対する相談・助言　⑦PDCAサイクル評価（ニーズの調査研究・事業実施後の分析）